

令和 7 年度春野中学校 学校経営方針

＜学校経営に向けて最上位目標＞

「学校は社会の中でよりよく生きていける」ようになるための場所

1 学校教育目標

「自他共愛」～ 明るく 豊かに たくましく ～

2 学校教育目標のねらい

- 「自他共愛」について
 - 「自他共愛（じたきょうあい）」（自分自身も、他の人も、お互いに大切にシ合ッて生きていこう）
 - (1) 自己肯定感：自分を大切にシ、自分の価値を認め、自分に対して前向きな評価をしよう
 - (2) 共愛の心 ：他者を理解シ、愛シ、尊重する心を育て、共に多様性を尊重しよう
- 「 明るく 豊かに たくましく 」について

学校教育目標		「自他共愛」～ 明るく 豊かに たくましく ～						
(1) 自己肯定感		自分を大切にシ、自分の価値を認め、自分に対して前向きな評価をしよう						
(2) 共愛の心		他者を理解シ、愛シ、尊重する心を育て、共に多様性を尊重しよう						
プレゼンカ・伝える力	自己肯定感	笑顔 とあいさつ	知識と技能	共愛の心・他者理解	基本的な生活習慣	主体的な態度	自立・自律（じりつ）	レジリエンス（精神的回復力）
前向き（ポジティブ）思考	明るく	前向き行動（プロアクティブな態度）	心理的安全性の構築	豊かに	良好な人間関係	チャレンジ精神・実行力	たくましく	実行力（粘り強さ・継続）
コミュニケーション力	相互承認	ユーモアセンス	問題発見力・情報収集力	比較・分析・判断力	課題解決力	感情のコントロール	行動のコントロール	地域貢献・ボランティア精神

明るく	豊かに	たくましく
(1) 自己肯定感 自分自身を肯定することで、自身をもち、前向きな気持ちを持つことができます。 (2) プレゼンカ・伝える力 情報やアイデアを効果的に伝えることで共感を呼び、明るいコミュニケーションを促進します。 (3) 笑顔とあいさつ 笑顔とあいさつは、人との良好な関係を強化します。 (4) 前向き（ポジティブ）思考 困難に対しても積極的に取り組む姿勢が、明るい雰囲気を作ります。 (5) 前向き行動(プロアクティブな態度) 積極的な行動と態度が、周囲に明るさをもたらします。 (6) コミュニケーション力 効果的なコミュニケーションが、円滑な人間関係を築き、明るい環境を作ります。 (7) 相互承認 お互いの存在や努力を認め合うことが、協力的で明るい雰囲気を生み出します。 (8) ユーモアセンス 笑いや楽しさをつくることで、緊張をほぐし、明るい雰囲気を作り出します。	(1) 共愛の心・他者理解 他者への理解と共感を深めることで、共愛の心が養われます。 (2) 知識と技能 幅広い知識やスキルの習得を通じて、考え方が豊かになります。 (3) 基本的な生活習慣 健康的な生活習慣を確立できると、心身のバランスが取れ余裕が生まれます。 (4) 心理的安全性の構築 安全で安心な学びの環境を構築することで、心理的な安定が図られます。 (5) 良好な人間関係 コミュニケーション能力を向上させることで、良好な人間関係が築かれます。 (6) 問題発見力・情報収集力 問題の発見と情報収集の力を養い、問題解決力が高まります。 (7) 比較・分析・判断力 適切な判断力を育成することで、判断力が深まります。 (8) 課題解決力 創造的な課題解決能力を養成し、実践力が向上します。	(1) 自立・自律（じりつ） 自分で考え、行動し、責任を持つこと、そして他者に適切に依存できることで、たくましく成長します。 (2) 主体的な態度 自分から進んで行動する姿勢を身につけることで、自信を持って行動できます。 (3) レジリエンス（精神的回復力） 回復する力を高めることで、困難や逆境に立ち向かえます。 (4) チャレンジ精神・実行力 新しいことに挑戦する意欲を持つことで、困難にも前向きに取り組むことができます。 (5) 実行力（粘り強さ・継続） 持続的に努力し、粘り強く取り組む力を身につけることで、成果を出すことができます。 (6) 感情のコントロール 自分の感情を適切に管理し、冷静に対応する力を身につけることで、ストレスに対処できます。 (7) 行動のコントロール 自己管理能力を高め、計画的に行動する力を養うことで、目標を達成しやすくなります。 (8) 地域貢献・ボランティア精神 地域社会に貢献し、他者のために行動する心を持つことで、社会とのつながりが深まります。

3 目指す学校像

- (1) 生徒、保護者、地域の方々から信頼され、安全・安心な学校
- (2) 生徒が学ぶ喜びを味わい、生きる喜びを実感する教育活動を展開する学校

4 目指す生徒像

高い自己肯定感をもち、夢や目標に向かって他者と共に成長と自律を追求する生徒

5 学校経営方針

- (1) 学びの質の向上
「ワクワクする学びの場」を展開し、「自律した学習者」の育成
- (2) 子どもの発達や心のサポートの取組に関する取組
「自己肯定感」「共愛の心」の育成と心理的安全性の確保
- (3) 地域とともにある学校づくりに関する取組
生徒の目指した地域貢献・ボランティア精神の醸成と「地域・家庭・PTA」との連携強化
- (4) 教育環境の整備に関する取組
充実した教育環境の構築と安全対策の強化
- (5) 教職員のキャリア形成に関する取組
「先生が生き生き」と輝ける研修体制づくり

6 重点目標

- (1) **「ワクワクする学びの場」を展開し、「自律した学習者の育成」の育成**
 - (1-①) **自律した学習者の育成**
これまでの「一斉指導」の成果と課題を明確に捉え、「自律した学習者の育成」を目指して、これまで行ってきた「自由進度学習」「個別最適な学び」「協働的な学び」をさらに研究し、進めていく。知識・技能においては、「理解」で終わらずに「定着」を重視し、思考・判断・表現においては、「デザイン思考」(問題発見・課題設定・情報収集・課題解決)を意識した授業づくりを推進していく。
 - (1-②) **「分かった・できた」を実感する生徒の育成**
生徒の発信(プレゼン力)や事後の振り返りにさらに着目し、生徒の学びを深める。また、学習状況調査、定期テスト、各種アンケート等を丁寧に分析し、学習評価及び学びの質の向上を図る。
- (2) **「自己肯定感」「共愛の心」の育成と心理的安全性の確保**
 - (2-①) **「自己肯定感」の向上と「共愛の心」の育成**
生徒の「自己肯定感」を「共愛の心」を高める取組を積極的に行っていく。生徒の「自立・自律(じりつ)」を促し、「合意形成させる力」を育み、問題解決能力を伸ばし、多様性を受け入れて協力できるようにする。そのために、「エナジード」的思考の育成、ファシリテーターの育成、「合意形成」を意識した「校則見直し検討委員会」、生徒会・専門委員会等の充実を図る。
 - (2-②) **生徒の望ましい居場所(安全基地・サードプレイス)づくり。**
すべて生徒に安心感のある学級づくり、各種委員会、部活動等の運営を目指し、人間性を育むための望ましい居場所づくりと心理的安全性を確保する。登校や教室に入るのに不安がある生徒には、関係機関との連携やSolaる一むを通して、生徒の様々な居場所を検討していく。そのために、「誰一人取り残さない」教育相談、生徒指導、Solaる一む運営の充実を図る。
- (3) **生徒の目指した地域貢献・ボランティア精神の醸成と「地域・家庭・PTA」との連携強化**
 - (3-①) **地域との連携**
春野中生が、この地域を大切な「ふるさと」として実感できる生徒を育成していく。そのために、地域との連携、ボランティア活動の充実、地域貢献意識の向上を目指して連携を図る。そのために、ボランティア等に関わる担当を増やし、地域行事への参加者募集から参加までの流れや周知を明確にし、より参加しやすい環境づくりを構築する。
 - (3-②) **家庭・PTAとの連携強化**
家庭と学校が信頼関係のもと、生徒に適切な学びの場を提供できるよう、学校からの情報発信や家庭との連携をさらに図る。そのために、PTAとの連携は不可欠であり、子どもの絶対的安全基地である家庭環境や孤立化した保護者を出さないよう、支援できる体制づくりを構築する。学校からも給食試食会や特別講座等、学校行事以外の提案を行う。
- (4) **充実した教育環境の構築と安全対策の強化**
 - (4-①) **充実した教育環境**
子どもがより効果的に学習できるよう、環境面と活動面を整える。環境面では、協働的な学びが実施しやすいような机・椅子やホワイトボード等を計画的に整備する。活動面では、机の配置や特別教室等の有効利用を検討することで、より有効的な教育環境を実現できるよう研究と工夫を行う。
 - (4-②) **安全対策の強化**
これまでの環境整備、安全点検、避難訓練等では対応できない事案も増えてきていることを踏まえ、定例の安全対策の見直し、常に最悪を想定した安全対策を検討する。これにより、安全対策の強化を図る。
- (5) **「先生が生き生き」と輝ける研修体制づくり**
 - (5-①) **校内研修の充実**
今年度も「ハルノ スマート ライフデイ」を実施し、教職員の研修の時間を意図的に設け、業務改善を進めながらも校内研修の充実を図る。校内研修では研修の楽しさを味わいながら、授業改善や今日的な課題に即した研修を行い、教職員のスキルアップと学校全体の授業の質の向上を図る。また、教職員同士のコミュニケーションを深めることも目的とする。
 - (5-②) **キャリア段階における自主研修の充実**
教職員のキャリア段階に応じた研修を推進するとともに、自主的な研修への参加も推進する。授業改善に限らず、様々な能面で分野で広く研修を行い、知識や経験を豊かにすることを推奨する。管理職は、定期的に各教職員の目標やねらいを共有し、ともに成果を共有できるような関わりをもつ。